

9日(金)~13日(火)
10:00~19:00 ※但し最終日は15時終了

写真展&絵画展

入場無料

展示棟

三春の動物シェルター 写真展



あの日、町から人は消え、
家族は戻ってこなかった。
そして、ペットの猫、犬など
動物たちが取り残された。
原発 20km圏内
立ち入り禁止をぐり、
「動物保護法」をたてに、
エサを与え、保護をした記録。

東北各地で3・11後、多くの家族が、無事を確認、哀しみを受け止め、
不安を癒し——「ダキシメ」る光景があちこちで見られました。
さらに原発事故後、放射能は容赦なく広範囲に降り注ぎ、
子供たちの甲状腺がんへの不安から、子供をもつ母たちが全国各地へ
避難しています。いわゆる「自主避難者」。ここにも「ダキシメ」る母子。
その母子を描いた小林憲明さんの絵画展です。

母子避難—ダキシメルオモイ 絵画展



10日(土) 12:00開場
13:00開演 (~16:00)

避難者 和光3・11

つながりカフェ

入場無料

小ホール

要予約

*お問い合わせ&お申し込み→和光市ボランティアセンター (TEL 048-452-7606: 平日9~16時)

締切 3月2日(金) ※ただし予定枚数に達した場合は、その時点で締め切ります。あらかじめご了承ください。

お名前、ご住所、日中でも連絡可能な電話番号、必要枚数をお伝えください。チケット配布は、1月4日(木)から行います。

第1部 「母子避難」対談

慣れない土地で、働き口も限られ、
家賃補助も打ち切られた母子だけの「自主避難」

■当事者の声に耳を傾ける

河井加緒理さん(福島県からの避難者)

×

吉田千亜さん(ルポライター、岩波新書「母子避難」著者)

第2部 歌声ともしびコンサート

一昨年、好評につき、再び登場。懐かしい昭和の歌謡曲、民謡、童謡。

大きい声で、
歌いましょう!

11日(日) 朗読・合唱コンサート

12:30開場
13:00開演 (~16:00)

入場料

¥1,500

(全席自由・寄付金含む)

大ホール

第1部 合唱と朗読

合唱: 震災関連曲「群青」(和光3・11スペシャル合唱団)
単独演奏(慶應志木高等学校・ワグネルソサイエティ男声合唱団)
朗読: 「福島の子どもたちからの手紙」朝日新聞出版(和光市立大和中学校放送部)
「きみのいたばしょ」NORTH VILLAGE (Yamato読み聞かせ隊)

—— 休憩: 40分 —— (カフェ、写真展・絵画展鑑賞、物産品お買い物などでお楽しみください)

第2部 14時46分*黙祷 そして演奏

「カンタータ大いなる故郷石巻」(作曲: 小杉太一郎/作詞: 石島恒夫)

指揮: 佐々木克仁(石巻出身)

出演: 石巻市民交響楽団、石巻合唱連盟の有志の皆さん

《ソプラノ》三浦 梓(石巻出身) 《ピッコロ》古澤利人 《朗読》林 竜多郎(オリーブ海風)

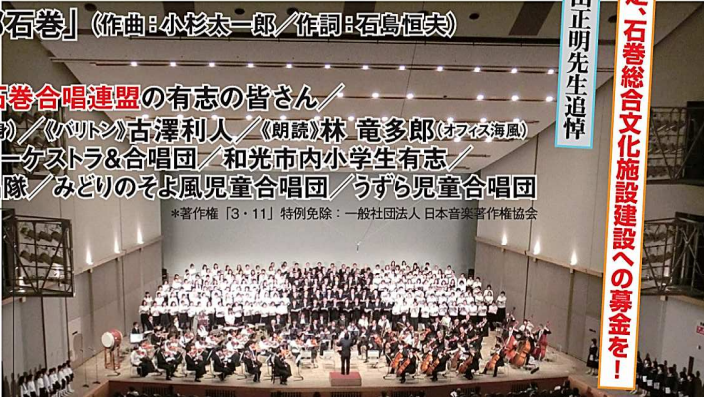
和光3・11スペシャルオーケストラ&合唱団/和光市内小学生有志

東京荒川少年少女合唱隊/みどりのそよ風児童合唱団/うずら児童合唱団

*著作権 [3・11] 特別免除: 一般社団法人 日本音楽著作権協会

*クローバー募金は3つの支援費用となります
(募金方法等は「和光3.11」HPをご覧ください)

- ①石巻市民交響楽団&石巻合唱連盟有志のための遠征費用(宿泊・交通費充当)
石巻からの遠征でかかるバスチャーター代と宿泊代を補助します。
- ②石巻総合文化施設・建設資金費用(石巻市へ寄付予定)
市民ホールを失った石巻でしたが、ようやく2018年に総合文化施設の着工が決まりました。
- ③首都圏避難者・支援費用(従来の目的一社協へ寄付)
首都圏にも多く、避難された方々がいます。「和光3・11つながりカフェ」に向けて、避難者の方々の交通費の補助やイベント運営費用に充当します。



石巻市民交響楽団及び石巻合唱連盟の遠征費用
への募金(クローバー募金)にもご協力ください!

2018年着工予定、石巻総合文化施設建設への募金を!